学校番号	T3010

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	新編　現代の国語　（第一学習者　出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・最終学年となりますので、社会人や次の学校に進むために具体的に必要な力を養うことを心がけましょう。
・様々な文章について学ぶことにより「読む能力」を向上させると共に、コミュニケーションをスムーズに行うことができるための「話す・聞く能力」や、自分の意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・教材や学習を通じて、社会常識や語彙力を身に付け、入社試験や入学試験などにも落ち着いて対応できるだけの力を身に付けましょう。
・提出物の期限は必ず厳守すること。
・定期考査は学習計画を立てて臨むようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・様々な文章を読み解いて、その内容や表現をとらえ、理解することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・目的や場に応じて、文章の内容や構成、展開、登場人物の心情や作者の真意などを的確に把握し、理解することができる。
・社会生活を送るうえで、お互いを尊重し、相互理解を深め、自分の意思や考えを伝えあうことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・言語感覚を磨き、論理的の思考力と豊かな想像力を育成し、場面に応じてそれらを活用することができる。
・作品から得た知識や考え方を、自己理解や社会への興味関心につなげていくことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識を身に付けるようにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもって言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	論説文 ［教材］「未知」はいくらでもある	a：・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b［　読　］:・実体験を踏まえて提示された「未知」に対する筆者の捉え方を理解し、自分に照らして考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・世界の捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 c：・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 ・本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。	発問評価 学習課題集の提出 定期考査	授業態度 指名音読 作文課題	指名音読 作文課題

		・積極的に自分の体験から適切な題材を決め、文章にまとめようとしている。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を積極的に理解し、会話を地の文で表現した効果について発表しようとしている。			
	論説文 ［教材］言葉の海のオノマトペ	a：・音声と意味との関係から、言語一般およびオノマトペの機能的特徴を理解し、音としての言葉への興味を広げる。 ・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 ・わかりやすさに配慮した表現について理解し、活用する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b［　読　］：・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 c：・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的にオノマトペを使っ	発問評価 学習課題集の提出 定期考査	授業態度 指名音読 作文課題	指名音読 作文課題

		た短文を作り、筆者の主張を検証して報告しようとしている。 ・積極的にオノマトペを使った短文を作り、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。			
	随想文 ［教材］十六歳のとき	a：・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b［　読　］：・人生の岐路となった筆者の旅を追体験することにより、世界にはさまざまな出会いがあることを知る。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・人生の岐路について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 c：・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 ・本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。	発問評価 学習課題集の提出 定期考査	授業態度 指名音読 作文課題	指名音読 作文課題

		・筆者の事績を調べ、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して報告しようとしている。 ・積極的に比喩表現について理解し、文脈に沿って意味を説明しようとしている。			
	評論文 ［教材］人はなぜ仕事をするのか	a：・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b［　読　］：・本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・筆者の仕事観について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 c：・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 ・積極的に比喩や例示の効果を理解し、読み取ったことを説明しようとしている。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、話し言葉	発問評価 学習課題集の提出 定期考査	授業態度 指名音読 作文課題	指名音読 作文課題

		を挿入した効果について説明しようとしている。 ・本文を読んで働くことに対する考えが深まったかどうかを進んで振り返り、根拠をあげて説明しようとしている。			
	論説文 ［教材］「弱いロボット」の誕生	a：・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b［　読　］：・「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・筆者が開発した「弱いロボット」について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 c：・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 ・動画と本文を比較して、わかったことを積極的に説明しようとしている。 ・本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。	発問評価 学習課題 集の提出 定期考査	授業態度 指名音読 作文課題	指名音読 作文課題

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b［　］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　２０　　）時間
・書くこと　…　（　　３０　　）時間
・読むこと　…　（　　２０　　）時間